

DLC除膜 ▶ 再コーティング

プラズマエッチング技術が精密金型のリサイクルを可能にします。

DLC膜は、ダイヤモンドに迫る硬度など優れた特長を持つコーティング技術として精密金型・治工具等に採用されています。しかしその卓越した特性のため、容易には除膜ができないことから、製品の再生・再使用に大きな困難を生じていました。

松山技研は、このDLC膜を最新のプラズマエッチング

技術を駆使して、製品面の肌荒れを抑止しつつ除膜する技術を確立しました。

除膜・再コーティングを行うことで、精密金型・治工具等の再生・再使用を、迅速かつ高品質で可能にします。生産の効率化、コスト削減に役立つとともに、環境負荷の軽減・省資源化に貢献します。

1 省資源・省コストの精密金型リサイクル

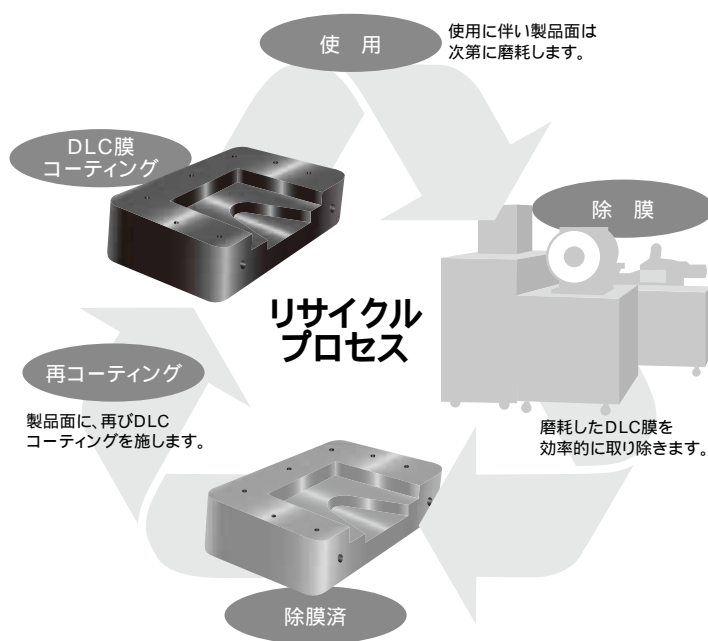
高精度な除膜技術により、これまで困難であった精密金型などの効率的な再生・再使用を可能にいたしました。

2 100 以下での低温プラズマ処理

処理時の温度は100°C以下。製品面の肌荒れ等を生じさせることなく除膜することができます。

3 環境負荷が少なく、加工時間が早い

プラズマエッチングによる除膜処理ですから、排出物等はほとんど生じません。他の加工処理に比べ、きわめて速やかに、安定的な処理を実現しています。



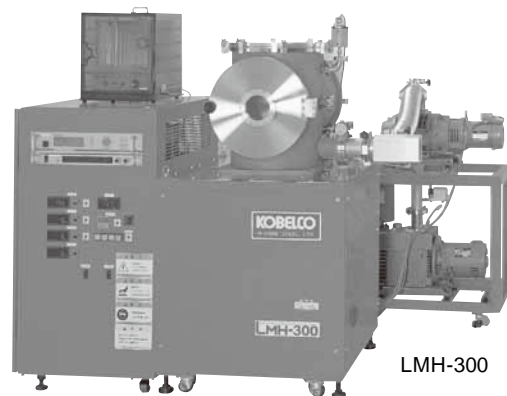
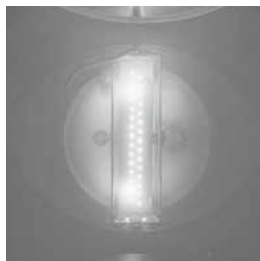
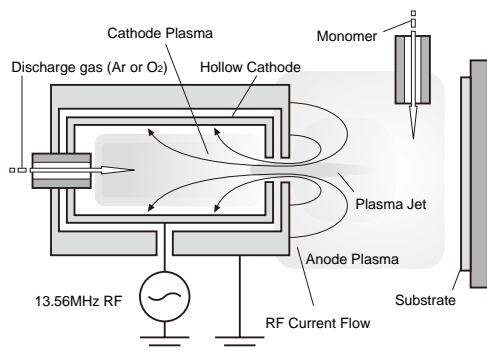
摘要

有効処理空間 200 × H200

最大処理重量 20kg

ホロカソード効果

ホロカソードと呼ばれる電極内では、負に帯電した電子の閉じ込め効果が生じ、電極・イオン化が促進され、極めて高密度のプラズマが発生します。ホロカソード内にArなどの放電ガスを導入することで、プラズマをカソードの外に放出することができます。



真空中で、活性化された酸素プラズマにさらすことにより、精密除膜を行います。